



2021年2月19日

マツダ、商品性向上を目的とした制御プログラムなどの最新化サービス開始 - 「MAZDA3」「MAZDA CX-30」初期型モデルにお乗りのお客さまに、最新モデルと同じ「走る歓び」をご提供 -

マツダ株式会社(以下、マツダ)は、既存モデルにお乗りいただいているお客さまを対象に、保有車両の商品性向上を目的とした制御プログラムなどの最新化サービス「MAZDA SPIRIT UPGRADE(マツダ スピリット アップグレード)」を、開始いたします。



MAZDA3 XL Package

MAZDA CX-30 XL Package

この第1弾として「MAZDA3」「MAZDA CX-30」の初期型モデルを対象に、以下の制御プログラムの最新化サービス^{*1}を、本日より実施いたします。

- ① 新世代ガソリンエンジン「e-SKYACTIV X(イー・スカイアクティブ エックス)」エンジン搭載車のエンジンとATトランスミッション制御プログラム (2019年11月8日～2020年11月27日生産のe-SKYACTIV X搭載車対象)
素早いアクセル操作に対する応答性とコントロール性が向上し、高回転まで気持ちよく伸びるドライビングフィールが進化し、マツダが目指す人馬一体の走りにさらなる磨きがかかります。
- ② クルージング&トラフィック・サポート(CTS)の制御プログラム (2019年4月2日～2020年12月1日生産のCTS装着車対象)
作動上限車速を約55km/hから高速域まで引き上げ、高速道路や自動車専用道路の渋滞時等に運転疲労の軽減をサポートします。
- ③ マツダ・レーダー・クルーズコントロール(MRCC)の制御プログラム (2019年3月5日～2020年8月28日生産の全車対象)
追従走行における加減速制御を、より人間特性に合わせより滑らかにします。

マツダは、ブランド価値を高める取組みとして、継続的に商品改良を進めています。昨年11月の「MAZDA3」、12月の「CX-30」の商品改良では、制御プログラムの最新化により、エンジンおよび安全技術の性能が向上しました。e-SKYACTIV Xエンジンの性能の改良は、2019年に初めて国内に導入したe-SKYACTIV X搭載車をご購入いただいたお客さまの走行データなどをもとに実現することができました。e-SKYACTIV Xエンジン搭載車をご愛用いただいているお客さまへの感謝の意を込めて、今回特別に無償で制御プログラムを最新化いたします。

対象のお客さまは、サービスキャンペーン(プログラムアップデート)^{*2}の案内が届き次第、最寄りの販売店で制御プログラムの最新化を行っていただくことで、最新モデルと同等の性能が得られます。

マツダは、クルマ本来の魅力である「走る歓び」によって、美しい「地球」と心豊かな「人」・「社会」を実現し、人の心を元気にすることにより、お客さまとの間に特別な絆を持ったブランドになることを目指してまいります。

^{*1}: 上記①②の制御プログラムの最新化サービスは、昨年11月に道路運送車両法の一部が改正されたことで、使用過程時の車両へのソフトウェアアップデートによって性能変更や機能追加(改造)が可能になる許可制度にのっとり、実施するものです。

^{*2}: サービスキャンペーン(プログラムアップデート)の詳細は、マツダホームページをご参照ください。<https://www2.mazda.co.jp/service/recall/>